

2026 年 7 月 17 日

お客様、株主の皆様へ

皆様には、平素より格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびは、株式会社全東信の破産手続開始に伴い、お客様、株主の皆様に多大なるご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

当行は 2026 年 7 月 7 日に株式会社全東信への債権 80 億円のうち、担保・引当等で保全されていない 58 億円については全額、引当処理を行うことを公表いたしました。

この度、当行が保有する政策保有株式を中心とした有価証券の一部を売却し、55 億円の売却益を引当処理に充当することといたしましたので、これにより、本件の影響は概ね吸収することができるものと考えております。

なお、政策保有株式につきましては、従来から資本効率の向上やコーポレートガバナンスの観点から原則として縮減方針としてきたものです。

国内の市場金利は当面、上昇する見通しであり、2026 年 3 月 13 日に公表した、有価証券処理に伴う運用サイドのポートフォリオ入れ替えにより、当行の収益力は一段と高まっております。また、国内基準行に求められる自己資本比率も上回っていることから、当行の健全性にも問題はございません。

当行は今後も、地域のお客様の発展のため、本業支援や事業性融資等に積極的に取り組み、地域経済の活性化に貢献してゆく所存でございますので、引き続き、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役頭取

北 沢 功